

総務文教常任委員会

日程:令和2年2月5日(水)~2月7日(金) 千葉県

●PFIによる学校給食センター整備事業について(鎌ヶ谷市)

PFI方式がベストとは言えないが「設計」、「建設」、「維持管理」、「運営」を民間のノウハウを活用することで本市の学校給食にも導入できること。

また、多額の費用を要する事業にも財政負担の標準化が得られることを視察してきました。



給食センター内見学施設

●学校プール授業の民間活用と今後について(佐倉市)

本市でも、昨年民間委託が実施されました。佐倉市では、プールに入れない(入らない)児童も基本的に全員がプールに行き、支援学級の児童の対応はインストラクターのTT(注)で指導するなど様々な課題を克服し、将来この授業を推進していけば60年間で約2億円のコストがかからなくなることまで試算されていました。プール施設跡地の有効利用も考える課題等を視察してきました。

(注)TT…チームティーチング 複数で教えること

●公共施設の再生について(習志野市)

公共施設の老朽化問題は確実に起こる新しい問題、人口減少に伴い過剰となる公共施設を適切に減らすのが基本的方向性、適正化の取り組みとして先送りすればムリ、ムダ、ムラが拡大し財政悪化になることを視察してきました。

市議会議員 人権・同和問題研修報告

日時:令和2年2月12日(水) 14時~16時

場所:全員協議会室(市役所5F)

演題:「子どもの貧困と人権の問題」

講師:公益社団法人福岡県人権研究所 事務次長 さこもと こうじ 迫本 幸二氏

太宰府市議会は、「太宰府市人権・同和問題啓発推進会」構成31団体の一つであり毎年、自主研修会を実施しております。

今回の研修内容は、子どもの貧困の状況や貧困と学力問題また、若者の就労と貧困問題について現在、わが国がかかえる社会問題についての研修でした。

迫本先生の講演終了後、数名の議員から質問があり、丁寧な回答をいただきましたが、子どもの貧困の実態を知ることができ、たいへん有意義な研修会でした。

私たち議員は、今後の活動において積極的な啓発や子ども食堂(現在活動議員あり)などを通して人権・同和問題の取り組みにつなげていきたいと考えております。



◇編集後記◇

年明けから新型コロナウイルスの猛威が地球規模に広がっている。罹患された方々の早期の回復を願う。

については、この新型コロナウイルスは2020東京オリンピック・パラリンピックの延期まで決断させた。

更に、政府は福岡県を含んだ、7都府県に緊急事態宣言を出し、収束の見通しが立っていない。

今回の広報が皆さんのお手元に届く4月末には今の脅威が落ち着いている事を願いながら、感染防止のための取り組みを心掛けながら日々を過ごしつつ、繰り返しになるが早期の収束を願う。

(雅)

議会広報特別委員会

委員長	原田久美子
副委員長	木村彰人
委員	藤井雅之
委員	橋本健
委員	入江寿
委員	笠利毅
委員	柳原莊一郎